

アビタス通信 30

A b i t u s P r e s s

vol. 30

January 2014

Abitus

e-learning globalization

加速化するグローバル化・IT化への対応

株式会社アビタス 代表取締役社長
三輪豊明

意欲はあっても時間がない

アビタスでU.S.CPA（以下CPA）を学んでいる人の9割以上が、お仕事と並行して勉強されています。その中で経理・財務関連のお仕事をされている人が約4割。英語のレベルは平均するとTOEIC700点程度、年齢は30代前半ぐらいを中心にかなりバラつきがあります。お仕事も忙しく、仕事以外にもやるべきことがたくさんあって、なかなかまとまった時間がとれないというのが共通の悩みです。

CPA試験の合格率は全世界で約50%と決して難しい試験ではありません。ほぼ2人に1人は合格します。日本の公認会計士試験の合格率とは10倍近い開きがあります。難しくはありませんが、幅広い知識が求められるので、難しく理解できないのではなく、「時間がない」のが共通の悩みです。

オンライン教育の幕開けと未来

そうした状況の中で、今、教育の世界は、オンライン教育（eラーニング）に大きくシフトしています。ITの発展によって、eコマースがあつという間に生活に浸透し、オンライン証券なども急成長しているのはご承知の通りです。教育の世界でも、オンラインを活用して学習する動きが加速化しています。アメリカから発生した、大規模オンライン講座、MOOC（Massive Open Online Course、通称ムーク）は、大学の人気授業を一斉に公開して、世界トップの授業を誰もがオンラインで見られることを可能にしました。これは、オンライン教育の

幕開けであり、第1段階であろうと思います。

先にどういった世界が待っているかという、次に考えられるのはオンラインで受講する受講生同士がコミュニケーションを図るソサエティの整備であり、最終形は適応教育であろうと思います。一人ひとりの個性や状況に応じて、異なるプログラムを提供する。先生一人に生徒一人という教育の理想形に近い形が、ITの力を使えば可能になります。

アビタスでも、これまで教室に座って皆さん同じ授業を受けていただいていた。勉強される方の中には、簿記一級を持っている方もいらっしゃる、全く会計の知識がない方もいらっしゃいます。英語力にしても、TOEIC900点台の人もいれば500点台の人もいます。勉強の時間をたくさんとれる人もいれば、とれない人もいらっしゃる。様々な状況にある人が、同じコースを受講していただいていた。教える立場に立てば、どこにレベルを設定すれば多くの方にご満足いただけるか、という問題がありました。これがマスプロ教育の限界なのだろうと感じています。

細切れ時間が活用できる オンラインの「スモールユニット方式」

そうした中で、アビタスもオンラインを活用した理想的な教材作りに取り組んでいこうと考え、2013年11月に新バージョンを提供しました。一つの新しい取り組み



として、「スモールユニット方式」というスタイルを取り入れました。先生の授業を聞いて理解するステップと、関連する問題を解くための問題演習ステップの組み合わせで1ユニットとしました。1ユニットは平均20分で完結します。この程度のサイズであれば、毎日取り組むことも不可能ではありません。細切れの時間をうまく活用するための取り組みで、忙しい現代人にはこうしたスタイルが合っていると思います。

オンラインにすることで勉強している人との双方向性ができるのも、今までとの大きな違いです。教室の授業では、日本は質問があまり出ず一方通行になりやすく、DVDもお渡しするだけで終わりでした。オンラインであれば、リアルタイムで何人講義を視聴しているか、この問題を解いているかが把握できます。同時に、ユニットの講義や問題に関して、理解度を5段階で評価するアンケートを常にとることで、難しいと感じているユニットについては、すぐに撮り直ししてフィードバックできます。オンライン受講生同士のやり取りも今後、できるようにしていきたいと考えています。それがコミュニティづくりへと繋がり、その繋がり、受講生の皆さんにとって大きな財産になると思います。

アジア・アメリカへの展開を視野に

また、受講生の方に解いていただく数千問の問題、すべての解説動画を作りました。最初に問題に当たるときは先に解説を聞いていただき、2回目、3回目は自分の力で解くという取り組みです。また、オンラインビデオを見るときは、1.5倍で再生できます。十分理解できて時間短縮にもなります。もう1回授業を電車の中で聞きたいという人には、音声ダウンロードもできるようにしました。2度耳から入れることで記憶は定着します。

さらに、本番の試験問題は英語ですが、英語力にもバラつきがあります。英語が得意でない人には、問題文の日本語訳を斜め読みにしてから英文を読んだほうが早いので、問題集の完全日本語訳冊子を用意しました。

こうした教材は、米国のCPA向けの学校でもないはずですが。スモールユニット方式など考えないでしょう。試験向けの教材作りは、世界の中で日本が一番進んでいるかもしれません。

そうした強みを活かして、日本だけでなく、アジア・アメリカへの展開も視野に入れていきます。そのためにも、より良いオンラインの仕組み、プラットフォームを作っていかなければなりません。それには優秀なエンジニアが必要です。日本ではその採用は非常に難しいものがあ

りますが、IT開発チームに、IT専攻の早稲田のマスターと東大を卒業した中国人留学生を2名採用しました。もちろん日本人もいますが、グローバル化した開発チームでプラットフォームづくりを進める——そんな体制で臨んでいます。

コンテンツは今は日本語ですが、英語バージョンを2014年には揃えたいと思っています。日本人でも、始めは日本語で聞いて、2度目は英語で聞くこともできます。加えて、中国語バージョンを2014年中に揃えられればベストだと思っています。

「外から内へのグローバル化」もサポート

グローバル化対応という点では、これまでアビタスは一貫して日本人にアメリカの資格を取得してもらって国際的に通用するスキルを身につけるサポートを行ってきました。いわば、内（日本）から外へのグローバル化対応です。一方で、外から内へのグローバル化もあります。そのお手伝いもやってみたくなりました。その第一弾が、TCJ（東京中央日本語学院）のM & Aによるグループ会社化です。現在、中国を中心とした生徒が450人程在籍しています。ここで日本語を一定期間勉強した後、日本の大学や大学院に進んでいきます。彼らは極めて優秀です。日本の大学の国際競争力の低下が叫ばれていますが、彼らは日本の大学教育のレベルやクオリティだけではなく、トータルで見た日本の魅力、つまり卒業した後、日本での就職を考えて日本に留学してきている人がほとんどです。彼らは英語もできるので、我々が採用した人たちも含め、基本トリリンガルです。ITでPh.D.をとる人もいます。スペックだけで採用すると、皆日本人ではなくなるのではないかと思うほどの人材が日本の外にはいます。そうした人が入ってくることで、会社は驚くほど変わります。アビタスでは、TCJでのノウハウを活かして中国の大学等と提携して中国人留学生の人材紹介事業を図っています。

*

アビタスは、多くの会社様と同様に、グローバル化とIT化が最重要の課題だと思っています。読者の皆様の会社でも、この二つの課題を持たない会社はないでしょう。次の市場はアジアおよびアメリカ本国にあると思っています。我々自身がグローバル化・IT化を進めることで、日本における、グローバル人材の育成・採用のサポート力も高まり、これまで以上の価値を提供できるようになることを確信しています。

公開講座・イベントスケジュール

下記以外にも各種講座・イベントを開催しています。
最新の情報はアビタスWebサイトをご覧ください。

2/7(金) 9:00~17:15

セミナー

不正への対応と内部監査の 効率化・高度化にむけて

- 講師：プロティビティ LLC 栗野 友仁氏・池田 泰三氏・青山 卓郎氏
- 会場：アビタス八重洲校（中央区日本橋 3-6-2 日本橋フロント4階）
- 参加費：一般価格 54,000円（税込）・特別価格 43,200円（税込）
※特別価格はアビタスの各種講座受講生等に適用
- お問い合わせ：株式会社アビタス マーケティング部 法人統括グループ
担当：伊達 TEL 03-3299-3130 e-mail: date@abitus.co.jp

2/5(水) 18:00~20:00

2/12(水) 18:00~20:00

2/19(水) 18:00~20:00

2/26(水) 18:00~20:00

テーマ別
内部監査
勉強会

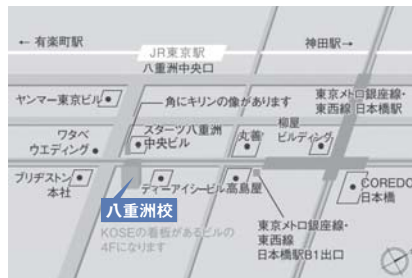
内部監査の課題： 人材育成と海外の監査

- 講師兼ファシリテーター：BMD リサーチ 代表 田原 中男氏
- 会場：アビタス八重洲校（中央区日本橋 3-6-2 日本橋フロント4階）
- 参加費：32,000円（税込） ※1日のみの参加の場合は、9,000円（税込）/日
- 募集定員：10人
※応募者多数の場合は、2月7日（金）・14日（金）・21日（金）・28日（金）
にもクラスを開設致します。
- お問い合わせ：株式会社アビタス マーケティング部 法人統括グループ
担当：伊達 TEL 03-3299-3130 e-mail: date@abitus.co.jp

新宿本校



八重洲校



大阪校



アビタス通信 Vol.30 2014年1月発行

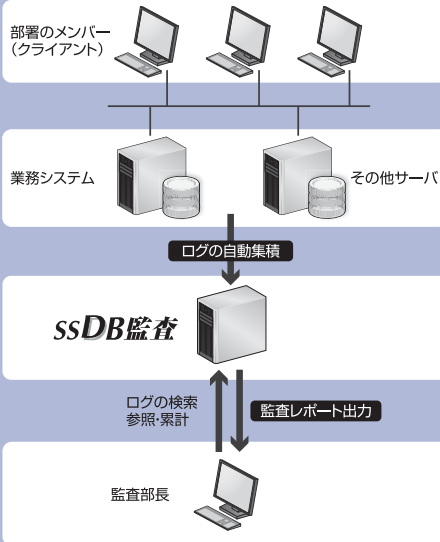
発行——株式会社アビタス
〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-1-1 新宿マインズタワー 15F
発行人——三輪豊明
編集担当—広報・金元
abitus@abitus.co.jp TEL 03-3299-3223

本誌よりの無断転載・訳載を禁ず

アビタス・ネットワーク

【新宿】〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-1-1 新宿マインズタワー 15F
TEL 03-3299-3330 FAX 03-3299-3777
【八重洲】〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-6-2 日本橋フロント 4F
TEL 03-3278-8800 FAX 03-3278-8801
【大阪】〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田 2-5-2 新サンケイビル 8F
TEL 06-6341-1020 FAX 06-6341-1088

導入事例：大手金融機関様



Oracle Database/Microsoft SQL Server 対応データベース監査ソリューション

ssDB 監査

今日からできるデータベース監査

簡単 GUIによる直感操作で監査設定

確実 全アクセスログを漏れなく取得

連携 ログデータを他システムへ連携

リリースから7年 金融系をはじめ、多くの企業に導入されています。

株式会社システムエグゼ

<http://www.system-exe.co.jp>

〒104-0028

東京都中央区八重洲2-7-2 八重洲三井ビルディング5階

お問合せ TEL:03-5299-5352

mail:mktg@system-exe.co.jp FAX:03-5299-5354

内部統制監査に備える本当に必要なログ管理とは？

マイログスター

決め手は「収集力」と「環境対応力」

MylogStar

金融商品取引法に基づく内部統制の対策として必要な要素にログ管理（証跡管理）があります。

ログ管理をおこなうには必要なログが取得できなければ始まりません。そしてログを単に取得するだけでも意味がありません。

必要に応じた内部統制の評価や監査に有効な情報として確認ができる。それがログ管理なのです。

MylogStarは物理環境・シンクライアント環境に関わらず、抜群の収集力でログを取得できます。

また、取得したログは直感的な管理画面で効率的に管理・活用ができるのです。MylogStarは、操作ログ管理の専用製品です。

<http://www.mylogstar.net>